

令和 4年度 全期分 モニタリング評価表

和光市総合児童センター

指定管理者：PFI和光市広沢株式会社

代表者氏名※

調査・評価者氏名

(※指定管理者のみ記載)

調査日時 令和 5年 7月 18日

評価内容	検査項目	評点
①サービスの維持・向上に向けた取組が行われているか。	1. 利用者サービスの向上や利用促進のための取組みがされたか。	3.80
	2. 利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	3.60
	3. 人権尊重に配慮したサービス提供、情報提供がなされたか。	3.40
	4. 利用者意見、要望が管理運営に反映されたか。	3.80
	5. 利用促進に向けた広報の取り組みに努めているか。	3.40
【工夫・改善点等】 ・ホワイトボードの活用による子どもの意見やコミュニケーションを取る仕組みなど評価できる。こどもまんなか社会の実現に向けて、子どもの意見を積極的に取り入れていただきたい。 ・1：アイスや離乳食・オムツの自動販売機等の導入を検討してください。 ・4：夏祭りに参加できなかった児童に対し、リベンジ企画を考えたところが良いと思った。 ・5：他事業者は自前HPや広報わこうに掲載する以外に子育て支援施設や小学校等の様々な施設へのチラシ、パンフレット掲示等の広報活動を実施しており、利用促進に向け改善の余地があると認識している。		
②施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	1. 適正な施設の維持管理、運営が行われたか。	3.80
	2. 備品台帳により記録が適切に保管されているか。	3.20
	3. 市と指定管理者の備品が明確に区別されているか。	3.80
	4. 必要な修繕を適切に行い、市に報告しているか。	3.80
	5. 日常点検、自主点検が適正に行われているか。	3.60
【工夫・改善点等】 ・適切に行われていて評価できる。 ・1：清掃面について苦情がないことに驚いた。今後もその清潔さを保つよう引き続き取り組んでいただきたい。 ・2：職員への普通救命教習を、全スタッフ対象に拡充していただき、ありがとうございます。		
③緊急時の対応、安全管理などの危機管	1. 事故、苦情に対する対応は適切であったか。	3.40
	2. 危機管理に関するマニュアルが整備され、定期的に訓	3.80

理が適正に行われているか。	練等を行っているか。										
	3. 救急救命に必要なAED等の設置や有資格者を配置しているか。	3.60									
	4. 利用者の安全利用のための施設・機器等の点検などが行われているか。	3.80									
	5. 事故、災害等の緊急時の連絡体制が、確立されているか。	3.60									
【工夫・改善点等】 ・適正に行われていて評価できる。 ・4：誤飲を含む遊具・おもちゃ関連の事故が0であるところが素晴らしいと思った。引き続き努めていただきたい。											
④快適な職場環境を実現し、本施設の管理運営業務に従事する職員の安全と健康が確保されているか。	1. 適正な人員（人数、有資格者）が配置されたか。	3.20									
	2. 労働法規の遵守や適正な勤務体制・勤怠管理システム等標準的な就業環境を維持しているか。	2.90									
	3. 職員が良質な公共サービスを提供できるように休暇制度や福利厚生制度の改善に取り組んでいるか。	3.60									
	4. 職員の資質向上と能力向上に向けたキャリアアップ可能な教育、研修体制が整備されているか。	3.80									
	5. 職員が納得できる働きがいのある公正な人事考課制度が確立しているか。	3.60									
【工夫・改善点等】 ・適正に行われていて評価できる。 ・2：年間を通じて、特定の職員に負荷の掛からない人員配置や勤務体制・環境を構築してください。 ・4：毎月外部講師を呼び、有識者の知見を取り入れているところに向上性を感じた。											
⑤指定管理者としての努力がなされているか。	1. 指定管理事業及び自主事業は当初計画と整合しているか。	3.20									
	2. 収入状況は当初計画と整合しているか。	3.00									
	3. 経理事務は適正に処理されているか。	3.40									
	4. 適性なサービス品質の性能が発揮されているか。	3.80									
	5. 地元の企業市民として地域貢献活動に取り組んでいるか。	3.60									
【工夫・改善点等】 ・地域と連携した企画も多数実施しており評価できる。今後も地域と連携し、地域と人を繋ぎ、地域課題解決に繋げていただきたい。 ・2：自主事業についても当初計画内容の検討をお願いいたします。											
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;"></td> <td style="text-align: center; border: 1px solid black;">88.5点</td> <td style="text-align: center;">(評点の合計)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">結果</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">×100=88.50% (評点の割合)</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center; border: 1px solid black;">100点</td> <td style="text-align: center;">(最高点の合計)</td> </tr> </table>				88.5点	(評点の合計)	結果	×100=88.50% (評点の割合)			100点	(最高点の合計)
	88.5点	(評点の合計)									
結果	×100=88.50% (評点の割合)										
	100点	(最高点の合計)									

※ 施設の性格や設置目的等により、適切な評価内容となるよう適宜変更すること。

評点の基準例

評点の基本的な考え方	点数
協定書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。(優良)	4点
協定書等を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。(良好)	3点
協定書等を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。(課題含)	2点
協定書等を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。(要改善)	1点